

大きな憧れをいだく大草っ子



大草小学校だより「憧れ35」

第17号 平成28年3月4日(金) 校長 有谷孝彦

学校づくりの合い言葉

「つなげよう！笑顔と学び たくましさ」



自己目標の達成！

三寒四温の文字どおり、春の訪れを感じる今日この頃ですが、あまりの温度差に体調管理が大変です。皆様におかれましては、益々御健勝のことと拝察いたします。

学校では、2月26日に35名のきずなを結ぶ駅伝大会を実施しました。当日に向けて、4チームに編制された子どもたちは、それぞれに目標を立て、練習を積み重ねてきました。自分の走力に合わせた距離を設定してタスキをつなぎます。走るのは個人ですが、チームでタスキをつなぐ団体競技でもありますので、子ども同士の心温まる大応援も聞こえました。6年生にとっては最後の駅伝大会だったので、思い残すことがないように一生懸命に走る姿が印象的でした。「きついけど、速くは走れないけど、充実感があるよね。」と感ずることができた見応えある学校行事でした。



足
ぶ
み

金子みすゞ

わらびみたよな雲が出て
空には春がきましたよ

ひとりで青空みていたら
ひとりで足ぶみましたよ

ひとりで足ぶみしていたら
ひとりでわらえてきましたよ

ひとりでわらってしていたら
だれかがわらってきましたよ

からたちかきねが芽をふいて
小みちにも春がきましたよ



平成 28 年度を見据えて！

次年度の育成課題と学校経営ビジョン作成のために、PTA役員会と大草塾運営委員会で、次年度に向けたワークショップの手法を用いた振り返りを行ったことは前号でお知らせしておりました。また、学校評価も含めて次のような現状を把握しました。

<平成27年度の子どもの実態（課題及び傾向）>

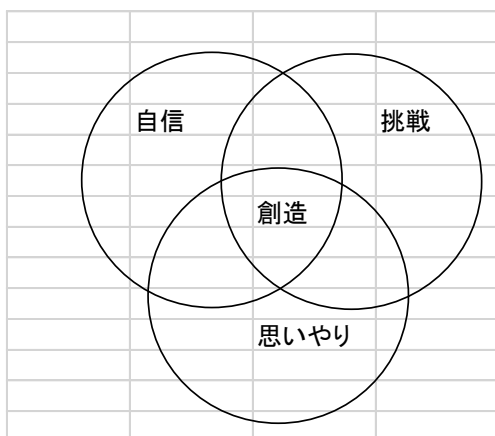
- 家庭学習に意欲的に取り組むようになってきた。
- 字を丁寧に書くことができない
- 子どもたちは、とても気持ちのよい挨拶をしてくれる。
- 挨拶をする子と挨拶をしない子のばらつきがみられる。声が小さい。
- 素直さがあり異学年でも仲良くできる子が多い。
- 学校と家庭での態度が異なり、学校では素直にしているようだ。素直さが表面的だ。
- 人前で物怖じせず話せる。
- おとなしすぎて、自信がなく、自己主張ができないのではないか。
- 言葉遣いが悪い。 ●忘れ物が多い。
- 言われたことはやろうとするが、自ら創り出す作業になると尻込みしてしまう。

以上のことから、実践改善の柱と到達目標を次のように考えました。

実践改善の柱		到達目標
学校生活全般において、自分なりの考えをまとめる機会を多く設定する。	➡	自分なりの考えをもつことで、 自信 を持つことができる。
自分を表現できる環境をつくるとともに、発表の機会を多く設定する。	➡	失敗を恐れず、自ら進んで 挑戦 することができる。
保護者・地域とともに協働できるよう共通の目標を設定する。	➡	自分自身を見つめ直し、友達とかかわりあいながら、 思いやり することができる。

上記の到達目標から、本校における子どもの育成課題を

<自信：Confidence><挑戦：Challenge><思いやり：Compassion>の3つの**C**



(トリプルC)を備えることであると考えました。そして、その核心で**創造性**を育むことを目指すことを平成28年度の大目標にしたいとの結論（途中ですが）に至りました。

「大草 創造 トライアングル（トリプルC）」

皆様の忌憚のない御意見をお寄せください。御意見は、連絡帳や広告紙の裏、電話でもかまいません。どうぞよろしくお願いいたします。

電話 43-1386（校長室）

